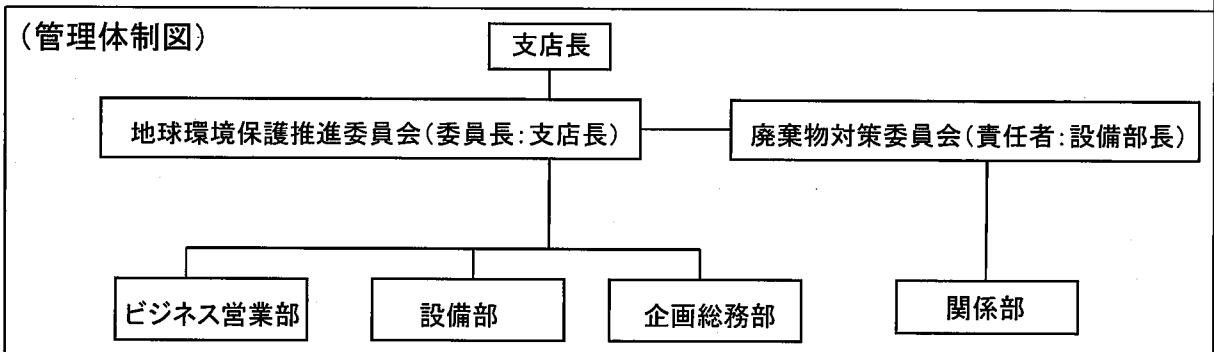


産業廃棄物処理計画書	
鳥取県東部総合事務所長	平成26年 6月 24日
	報告者 住所 鳥取県鳥取市湯所町2-258 氏名 西日本電信電話株式会社 鳥取支店 支店長 坪井 秀明 電話番号 0857-27-1167
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業の名称	西日本電信電話株式会社 鳥取支店
事業場の所在地	鳥取県鳥取市湯所町2-258
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	電気通信事業
②事業の規模	資本金 3,120億円
③従業員数	5,100人 (当事業所においては、11人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	○廃棄プラスチック(電話機等) ・解体・分別し、再生処理会社へ委託 ○金属類(交換機、伝送装置等) ・解体・分別し、最終処分場へ委託 ○がれき類(コンクリート電柱) ・粉砕し、路盤材として再利用(建設会社) ○廃酸(蓄電池) ・切断・分別し、再生処理会社へ委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(25年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	金属類	がれき類	廃棄プラスチック	廃酸
	排出量	49t	1,850t	46t	35t
	(これまでに実施した取組) 物品の長期間使用や利活用を実施した。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	金属類	がれき類	廃棄プラスチック	廃酸
	排出量	49t	1,850t	46t	35t
	(今後実施する予定の取組) 設備更改等の投資計画策定時に排出抑制に努める。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属屑(交換機、伝送装置等)、廃棄プラスチック(電話機等)を分別保管を行う。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状同様、今後についても金属屑、廃棄プラスチックを分別保管。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(25年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(25年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理より減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(25年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(25年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	金属類	がれき類	廃棄プラスチック	廃酸
	全処理委託量	49t	1,850t	46t	35t
	優良認定業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	49t	1,850t	46t	35t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生利用可能なものは、再生利用業者へ委託している。</li> <li>・処理業者の資格有無、処理能力、実績等を確認している。</li> </ul>				

(第5面)

②計画	<b>【目標】</b>				
	産業廃棄物の種類	金属類	がれき類	廃棄プラスチック	廃酸
	全処理委託量	49t	1,850t	46t	35t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処理委託量	49t	1,850t	46t	35t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	
(今後実施する予定の取組)					
可能な限り、再生利用業者へ委託する。					
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組みを記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。